

令和7年度第1回スポーツ推進審議会会議録

開催日時 令和7年8月26日（火） 午後2時～
開催場所 総合福祉保健センター4階会議室
出席委員 根本奈穂美会長、涌井佐和子副会長、中野由博委員、磐瀬真紀子委員、
荒井修光委員
欠席委員 石川宏貴委員、細野由樹委員
事務局 後野文化・スポーツ課長、北川スポーツ係長、市川主任主事、斉藤主事
傍聴者 0名

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長・副会長の選出
会長を根本委員、副会長を涌井委員に決定した。
- 4 会長挨拶
- 5 議事録署名人の選出
中野委員、磐瀬委員に決定した。
- 6 議題

（1）報告事項

ア 令和6年度スポーツ推進事業実績について
事務局より会議資料に沿って説明した。

〔質疑〕

根本会長： 北海道日本ハムファイターズ×小学校連携事業について、小学校4校での実施となっているが、次年度以降は順番に実施をしていくものか。

荒井委員： 令和6年度は4校で実施をしたが、鎌ケ谷市には9校小学校があり、毎年9校すべて回することは現実問題難しい。次年度は再度各学校に希望調査を取り、進める形をとって継続して実施していく事業としている。

涌井副会長： 実際には実施しているかもしれないが、アダプテッドスポーツ、障がいを持っている方のスポーツについて、他の市町村や県では、文書に言葉を残している報告書が多いが、鎌ケ谷市では現状どのようになっているのか。

事務局： パラスポーツについて、今まで障がい福祉課が窓口となり、あまりスポーツ担当課で扱ってきた経験がなく、近年パラスポーツの事務がスポーツ担当課に移ってきた状況だ。今後、パラスポーツのイベントを増やしていきたいというところではあるが、現状まだ、どのように

進めて良いか、ノウハウがない。パラスポーツに近いところでいうと、スポーツ推進委員が年間数回スポーツDayといった、軽スポーツのイベントを行い、そこでは、ユニバーサルスポーツと呼ばれる、ボッチャやモルック等の種目を取り上げている。

涌井副会長： 県では、競技スポーツの話し合いの中に、パラスポーツが必ず入ってきている。パラスポーツを分離していると外から見ると違和感があるので、今後は何か明文化されていくと良いと思う。

根本会長： 学校プール開放について、これは業務委託をしているところであって、会場となる学校の先生方も運営に関わっているのか。

中野委員： 今年度は、五本松小学校でプール開放があり、実際、学校の先生が運営に関わっていることはない。教頭先生との鍵の受け渡し等があるくらいだ。子ども達も多く来ているようなので、この事業はもっと拡大してもらえるとありがたい。

根本会長： プールの事故もあると思うので、そのあたりは気を付けて今後も実施していただきたい。

イ 令和7年度スポーツ推進事業計画について

事務局より会議資料に沿って説明した。

〔質疑無し〕

ウ 市民体育館改修工事について

事務局より会議資料に沿って説明した。

〔質疑無し〕

〔全体をとおしての質疑〕

中野委員： 学校現場から今後のお願いですが、部活動の地域移行について教育委員会が主体となって動いているかと思うが、小学校の校長として思うのは、中学校の子ども達はもとより小学校の受け皿も今後できていったら良いなということを要望として話させていただく。

スポーツ施設やスポーツ協会等、いろんな窓口になっていただける課ではあると思うので、指導者の掘り起こし、子ども達の受け皿の確立等、どこが中心となっていくかという問題はあるが、文化・スポーツ課にもたくさん関わっていただき、鎌ヶ谷の子ども達に多くの受け皿を確保していただきたい。また、市民の方の中には、指導をしてみたいといった方もたくさんいると思うので、文化・スポーツ課には橋渡しになっていただければと思う。

事務局： 部活動地域移行については、学校教育課と一緒に文化・スポーツ課、生涯学習推進課で市の中でどのように進めていくかということを今

現在進めているところである。小学校の受け皿というとはまた別の話になるかと思うが、そのあたりも学校教育課と連携しながら進めていければと思う。

7 閉会

【会議終了】以上

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

令和7年9月11日

署名人 磐瀬 真紀子

令和7年9月17日

署名人 中野 由博